

## 私が夢見るビューティーサロン

「ビューティー」の言葉は誰が聞いても好きだと思います。きれい・美しいという意味でしょう。私は小さいころからきれいなものが大好きで、美容師になりたいと思っていました。大きくなっていくにつれて、自分がきれいになりたいだけでなく夢がはっきりとしてきました。施設で育ったので、小さい時から貧しい人、苦しい人をたくさんみています。学校に行けない子ども、食べることが出来ない子ども、将来の道を見つける事が出来ない子どもがたくさんいます。自分が何になれるかなど考えられないのです。

だから私は美容師になってその子供たちを助けることが出来るかもしれないと強い目的を持って日本に来たのです。日本の進んだ美容の技術を学んで、それを子ども達に教えてあげて、一緒に働いて自立して自分で生活できる人を作っていければと願っています。学校に行けない人たちにとっては技術を身に付けることが一番いいと思います。そして、美容院に来てくれた人にとっては、技術が高いだけでなく、おもてなしの心も大切です。満足して幸せになってもらえるような美容院のサービスを日本で学びたいです。日本のサービスはとても素晴らしいです。

私が夢見るビューティーサロンは、お金持ちでなくても・少しの料金できれいになって喜んでもらえるようなサロンを作りたいです。生活が苦しくても、辛いことがあってもきれいになって、話も聞いてもらえて、元気になれるようなビューティーサロンが夢です。働く人も、お客さんも楽しい場所となるような、高い技術とサービスを日本で勉強して帰りたいと考えています。カンボジアでその夢をかなえるにはまだまだ大変なことがたくさんあると思います。でも夢に向かって、前だけ見て一生懸命進みたいと決心しています。

2014年3月3日

バン・サオピア

